



2026年4月9日

各 位

会 社 名 株式会社システムサポートホールディングス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 小清水 良次
(コード番号：4396 東証プライム)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 森田 直幸
電 話 (0 7 6) - 2 1 3 - 5 1 6 1

**連結子会社システムサポートが中京テレビへ
ServiceNow AI Platformの導入から内製化まで伴走支援のお知らせ**

当社の連結子会社である株式会社システムサポートが、下記プレスリリースを行いましたのでお知らせいたします。

記

システムサポート、中京テレビへ ServiceNow AI Platform の導入から内製化まで伴走支援
約 50 種もの申請・承認フローの自動化と業務改善に貢献

詳細につきましては、次ページ以降のプレスリリースをご参照ください。

なお、本件が当社の 2026 年 6 月期の連結業績に与える影響については軽微であると見込んでおります。

以 上

各位

2026年4月9日

株式会社システムサポート

システムサポート、中京テレビへ ServiceNow AI Platform の導入から内製化まで伴走支援 約 50 種もの申請・承認フローの自動化と業務改善に貢献

株式会社システムサポート（本社：石川県金沢市、代表取締役社長：東 祥貴、以下 STS）は、中京テレビ放送株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：黒崎 太郎、以下 中京テレビ）に対し、ビジネス変革を支えるクラウド型 AI プラットフォーム「ServiceNow AI Platform」を導入し、中京テレビ自身で導入後の運用・改善を続けられる内製化の支援まで伴走しました。本取り組みにより、ワークフローシステムの刷新に伴う各種申請・承認フローの自動化や全社ポータルサイトの統合、ナレッジ強化、IT 運用の効率化など、多岐にわたる業務改善に貢献しました。

■ ServiceNow 導入の背景・目的

近年、多くの企業が業務のデジタル化を進める一方で、部門ごとに導入されたシステムが個別最適化され、情報のサイロ化や属人化が問題となっています。その結果、ワークフローの自動化や情報の一元管理が困難になっているケースが増えています。

中京テレビにおいても、従来のワークフローシステムは紙の申請書を電子化した運用にとどまり、Excel を併用した煩雑な管理が続いていました。その結果、業務が属人化し、ナレッジ共有も十分に進んでいない状況でした。

この従来のワークフローシステムの更新タイミングを機に、ワークフロー自動化による業務改善やナレッジの蓄積を含む情報の一元管理、および自社で継続的に改善可能な内製体制の構築を実現できるプラットフォームが必要と判断し、ServiceNow の導入を決定。導入支援パートナーには、ServiceNow 認定資格を多数保有し、対面フォローが可能な STS を選定しました。

■ STS における ServiceNow 導入および内製化支援の内容

STS は、本 ServiceNow 導入プロジェクトにおいて「作って終わりではなく、ユーザーを育成し継続利用できる環境づくり」を掲げ、導入後の運用・改善を中京テレビ自身で行える状態となること（内製化）を目標に以下の支援を行いました。

- ・ **標準機能を活かした最適設計**

将来的な保守・拡張を見据え、カスタマイズを必要最小限に抑えた最適な設計（ServiceNow ベストプラクティス）を実施。

- ・ **初期構築（0→1 フェーズ）支援**

ServiceNow のベストプラクティスに基づいたワークフローや申請カタログ（社内申請の標準メニュー）のサンプル 1~2 本を作成し、それをテンプレートとして、内製展開の基盤を整備。

- ・ **運用・改善フェーズ（1→10 フェーズ）の伴走支援**

導入後は中京テレビ自身による開発・改善が進められるよう、レビューや技術相談中心の伴走型保守サポートを提供。これにより、安定した運用と自社主導の改善サイクルの確立を支援。

■ ServiceNow 導入後の主な効果

- ・ **申請業務の効率化**

各種申請業務の自動化・一元管理を実現。申請ルートや進捗の確認が容易になり、担当者の確認工数を大幅に削減できた。

- ・ **全社ポータルサイトの一本化**

グループ会社も含めた共有ポータルサイトを ServiceNow 上に構築したことで、業務連絡やナレッジ、社内報などの情報共有が円滑になった。

- ・ **IT 業務の負荷軽減**

PC 棚卸や台帳管理などの IT 運用業務が ServiceNow で完結し、定型業務の負担が軽減された。

- ・ **約 50 の申請カタログ運用を内製化**

STS の伴走支援により、約 50 の申請カタログについて自社による改善・追加が可能な運用体制を短期間で確立させ、内製化できた。

本導入事例に関する詳細はこちらの記事をご覧ください。

STS 公式サイト「ServiceNow 導入事例：中京テレビ放送株式会社様」ページ

»<https://www.sts-inc.co.jp/casestudies/3210/>

中京テレビは今後、ナレッジの蓄積強化や自己解決を促す AI・チャットボットの活用、ID 管理の一元化、IT 資産管理、脆弱性対応、セキュリティ強化など、ServiceNow を活用しさらなる業務改善に取り組む計画です。STS は引き続き、顧客に寄り添った伴走支援を通じて、内製化や自走運営をサポートしてまいります。

■ STS の提供する ServiceNow 導入支援について

STS は 2015 年より、10 年以上にわたり数多くの導入支援を手掛けてまいりました。プロセスコンサルティングから導入、テクニカルサポートまで、包括的なプロフェッショナルサービスを提供しています。高品質なサービスを継続的に提供するため、エンジニア育成にも注力し、ServiceNow 認定資格取得数は国内トップクラスを誇ります。この豊富な経験と確かな技術力で、お客様の多様なニーズに対して、ビジネスの継続的な成長を強かに支援します。

また、豊富な経験を凝縮し、スモールスタート&クイックインにフォーカスした導入テンプレート「Supportas Plus」も展開中です。

「お客様と共に未来を創る」を理念に掲げ、課題解決にとどまらず、その先の新しい価値創造を目指し、柔軟な発想で、業界や規模を問わず、あらゆるお客様にとって信頼される長期的なパートナーであり続けます。

STS の提供する「ServiceNow 導入支援」

» <https://www.sts-inc.co.jp/servicenow/>

STS の提供する ServiceNow オフアリングサービス「Supportas Plus」

» https://www.sts-inc.co.jp/products/product_supportas-plus.html

● 株式会社システムサポートについて

IT システムの企画から開発、運用・保守をワンストップで提供。データベースやクラウド基盤、ERP パッケージなどの分野での技術力を強みとしています。オリジナルパッケージとしては、建て役者（建築業向け工事情報管理システム）や SHIFTEE（クラウド型シフト管理システム）、就業役者（勤怠・作業管理システム）を開発・販売。お客様の ICT 環境を支援するサービスを幅広い業界で提供しています。

所在地 : 〒920-0853 石川県金沢市本町 1-5-2 リファール 9F

代表 : 代表取締役社長 東 祥貴

URL : <https://www.sts-inc.co.jp>

本件に関する報道関係者のお問い合わせ先

株式会社システムサポート

経営企画部 城（きずき）

TEL: 076-265-5151

※ServiceNow、ServiceNow ロゴ、Now、およびその他の ServiceNow マークは、米国およびその他の国における ServiceNow, Inc. の商標または登録商標です。その他の会社名、製品名、およびロゴは、関連する各会社の商標である場合があります。